

# 令和8年度一般会計当初予算（案）の概要

## 予算編成方針(抜粋)

- ・今後は人口減少などにより地方交付税などの一般財源の減少が見込まれるとともに、高齢化などに伴う社会保障費の増や物価高騰への対応などにより、厳しい財政状況が続くことが見込まれる。
- ・住民の福祉の増進を図りつつ、基本的な行政サービスを将来にわたって提供していくため、安定的で持続可能な行財政基盤の構築に努めていく必要がある。
- ・住田町総合計画の基本計画に定める主要施策を着実に進めるとともに、6つのプロジェクトについてはより加速的に推進する。

一般会計当初予算額 **54億6,100万円** (前年度比1億200万円 1.9%増)

道路維持工事費などの普通建設事業費の増(250,102千円 42.7%増)が主な増加要因

## 住田町総合計画政策軸別予算の特徴(令和8年度町単独新規事業:22事業)

政策軸	特徴
<h3>「医」</h3> <p>生涯にわたり健康な身体と豊かな心を育み、町民の健やかな人生の実現を目指します。</p>	<h3>子育て・教育環境の充実に向けた取組みを推進</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>●主な新規事業</li><li>・保育ICTシステム導入【11,572】</li><li>・児童発達支援事業(療育教室の開設等)【10,201】</li></ul>
<h3>「食」</h3> <p>暮らしの糧となる産業を振興し、活力と賑わいあふれる町の実現を目指します。</p>	<h3>交流人口の拡大を推進</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>●主な新規事業</li><li>・種山ヶ原体験交流センター指定管理【3,660】</li><li>・地域おこし協力隊(団体委託型)設置事業【11,000】</li></ul>
<h3>「住」</h3> <p>誰もが安心して快適に暮らせるよう、安全で利便性の高い町の実現を目指します。</p>	<h3>交通手段の拡大・脱炭素の取組みを推進</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>●主な新規事業</li><li>・高校生帰宅乗合タクシー実証運行【2,200】</li><li>・公共施設LED照明化工事設計【3,982】</li></ul>
<h3>「地域経営」</h3> <p>町内外で様々な人がつながり、多様な主体が協働・連携する町づくりを目指します。また、中長期的かつ広い視野で将来を展望し、着実に挑戦的な行政運営を目指します。</p>	<h3>コミュニティの活性化に向けた取組みを推進</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>●主な新規事業</li><li>・住田若者会議等開催事業【1,500】</li><li>・自治公民館活性化モデル事業【1,500】</li></ul>

※【 】内は事業費(単位:千円)